

テーマ:音

池袋第一保育園(豊島区)

テーマを設定する

3歳児クラスの頃より、音楽を楽しむことが大好きで、歌や楽器などに触れる機会が多くあった。リズム遊び等の中でも、音を聴くことに集中する姿が見られるので、音への興味関心をさらに広げていく機会にしたい。

活動① アーティストワークショップ1

音の実験① ～ウォーターゴング・ひょうたん～

環境をデザインする

●準備した物 シンバル、スティック、ボールチェーン、ひょうたん、マレット、たらい、銅鑼、水槽、養生シート ※ひょうたん実験コーナー、銅鑼実験コーナーをそれぞれ設置
ジャンベ、世界の小物楽器(レインスティック、コキリコ、カリンバ、マラカス、シェケレ、ティンシャ等) ※小物楽器は使用時まで布で隠しておく

探究活動を実践する

●活動内容

- ①アーティストの演奏でお出迎え、音にあわせてみんなで足ぶみ
- ②シンバルの音色を聴きながら、音と振動の関係のお話
- ③シンバルに紐・金属のボールチェーンをつけて鳴らしてみる
- ④ひょうたんをそのまま叩いた時と水の中に入れて叩いた時の音の変化を聴く
- ⑤銅鑼をそのまま叩いた時と水に沈めた時(ウォーターゴング)の音の変化を聴く
- ⑥ひょうたんと銅鑼の2つのグループに分かれて「〇〇したどうなる？」をみんなで試してみる
- ⑦2つのグループが互いに、ひょうたん・銅鑼の音についての発見を共有
- ⑧小物打楽器を自由に鳴らす
- ⑨挨拶をして終了、アーティストの演奏でみんなをお見送り

●子供たちの様子

・シンバルにボールチェーンをつけるとどうなる？「扇風機みたいにゆれてる」「風の音になった」「シリリリリ…って聞こえる」
・銅鑼を水槽の中で鳴らすと…「水の外だとガーン、水に入るとグワングワン」「泡がピューって出た！」「水がとびちった！」「水に線がすらすら～って入ったよ」
・大・中・小のひょうたんの音を聞いて…(2つ鳴らして)「こっちはドンドン、こっちはガムガム」(3つ重ねたら)「おもしろい音になった」(傾けて叩くと)「へんなドレミファソだ！」(3つを順に叩くと)「しんぞうの音みたい！」

活動スケジュール(5歳児クラス)

活動内容	実施日	時間/回	人数/回
① アーティストワークショップ1 講師:若鍋久美子(打楽器奏者)他1名	R6.10.15 (火)	75分程度	11人
② アーティストワークショップ2 講師:若鍋久美子(打楽器奏者)他1名	R6.12.6 (金)	70分程度	14人
③ クラス活動	R6.12.19 (木)	40分程度	17人



振り返りをふまえた気づき

●保育士から

- ・子供たち同士でひょうたんや、小物楽器を叩く様子を見合って、学び合っている様子が伺えた。
- ・鳴っている音を表現する時に、複雑な音を自分なりの言葉で表現していた。擬音語を使ったり、「妖精みtainな音」など、それぞれの感性で受け取っていた。
- ・子供たちから活動が楽しい！という気持ちが溢れていて、だからこそ夢中になって「ここを叩いたらどんな音なんだろう？」など前向きに取り組め、それぞれがその子ならではの発見をしていた。

テーマ:音

池袋第一保育園(豊島区)

活動② アーティストワークショップ2

音の実験② ～風船×管楽器/打楽器の音・自分の声～

環境をデザインする

●準備した物 トランペット、サクソ、トロンボーン、フレームドラム、風船(半透明なもの／2-3人で一つ使用)、世界の小物楽器(ビブラスラップ、マラカス、カシシ、ティンシャ、バードコール、カリンバ等) ※風船、小物楽器は使用時まで隠しておく

探究活動を実践する

●活動内容

- ①「前は音を聴いたり 目で見たりしたよね。今日は…音って触れるのかな？」
- ②「音ってなんだ？」音を立ててみる
・ジャンプでおおきな足音 ・うわばきで床をたたく
- ③自分のからだの音を聴いてみる／声を出す友だちの背中に手をあてる
- ④「息をつかって出す楽器があるの知ってる？」
管楽器(トランペット／サクソ／トロンボーン)の音を聴く
- ⑤管楽器とフレームドラムの音が出るところに風船を近づけると…
- ⑥人の声でも風船が震えるか実験～高い声・低い声～
- ⑦世界の小物楽器を自由に鳴らしてお気に入りの見つける
- ⑧「みんなでセッションしてみよう」
～静かな音から徐々に賑やかに&ドラえもん曲にあわせて～
- ⑨「素敵な音をホールいっぱい響かせてくれてありがとう」
みんなで元気にあいさつをして終了

●子供たちの様子

・風船にトロンボーンの重厚な音を響かせると…「ビリビリする！」「すごい！」「しびれる！」「音がふるえるのをさわれる！」
・フレームドラムを風船に響かせると…「くすぐったい」「おなかでもわかるよ」「洗濯機がうおーってゆれてるみたい」
・風船に自分の声を当ててみる子が登場。「キャー！」の高い声、「おーっ」の低い声を響かせる。「低い方がめっちゃした(震えた)」と、音の高さによって震え方が変わることに気づいた。



振り返りをふまえた気づき

●保育士から

・金管楽器に触れるのは初めてだったのではないかと思います。興味津々で楽しく活動が出来た。
・金管楽器の音の実験から、自然に自分の声でも試してみようとする姿が生まれていた。
・楽器を鳴らしているうちに、身体も動かして踊っているかのような子もいた。
・楽器をなかなか普段使いすることはないけれど、もちろん大事にはしつつも保育の中に、身近なものとしてあってもいいのではないかと感じた。(アーティストより、「友達と遊ぶように、楽器と大切に遊んでほしい」という話があった)